



海の京都エリア 宮津燈籠流し花火大会

会長挨拶

会員・関係の皆様には、平素より当連盟の運営に多大な御尽力、御理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本国における観光の状況については、昨年は訪日外国人の観光客数、旅行消費額ともに過去最高を記録しました。この勢いは続いており、今年1月から6月までの訪日外国人客数は、昨年を上回るペースで推移しています。このような状況を京都府域への観光誘客の好機として捉え、京都府の様々な魅力を発信、魅力的なコンテンツの造成等に取り組んでまいります。

また、京都府と京都市で連携して取組を進めている周遊・分散観光事業「まるっと京都」では、今年度は、時間の分散化の取組である朝夜観光のコンテンツの充実や、京都市と京都府域をつなぐ「川」をテーマとしたモデルコースの造成に取り組んでまいります。

大阪・関西万博の開幕から3か月が経過しました。万博期間中は京都府内においても、万博に関連した様々なイベントが開催されております。当連盟としても、万博を訪れた国内外の多くの皆様に京都府域の隅々までお越しいただけるよう、皆様と連携し、取り組んでまいりますので、引き続き御理解、御協力をよろしくお願いいたします。



公益社団法人京都府観光連盟
会長 田中 誠二

令和7年度公益社団法人京都府観光連盟 観光関連事業功労者表彰

当連盟では、京都府の観光振興に多大な貢献をされた観光功労者や優良観光団体、優良従業員・職員の皆様方に表彰を行っており、本年度は32名・5団体が表彰されました。受表彰された皆様方に心から敬意を表しますとともに、今後のご活躍を祈念いたします。

【観光功労者表彰：9名（知事表彰：3名、会長表彰9名）】

	氏名 ＜敬称略＞	所属
知事	多田 重光	公益社団法人宇治市観光協会
	上田 一夫	一般社団法人亀岡市観光協会
	新造 一夫	京都府料理生活衛生同業組合
会長	五十棲 忠男	長岡京市観光協会
	田邊 宗一	一般社団法人京田辺市観光協会
	内藤 一徳	一般社団法人亀岡市観光協会
	井上 悦幸	一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社 天橋立地域本部
	谷口 賢一	京都府旅行業協同組合
	田中 秀幸	京都府料理生活衛生同業組合

【優良従業員・職員表彰：23名
（知事表彰：2名、会長表彰21名）】



【優良観光団体表彰：5団体（知事表彰：1団体、会長表彰4団体）】

	団体名（代表者名） ＜敬称略＞
知事	城陽市観光案内ボランティアクラブ 「五里五里のふるさとガイド」（代表幹事：紀井 豊）
会長	まいづる肉じゃがまつり実行委員会 （会長：伊庭 節子）
	特定非営利活動法人精華町ふるさと案内人の会 （理事長：清水 泰律）
	あやべ里山サイクリング実行委員会 （実行委員長：福山 保孝）
	あやべ太鼓保存会（会長：芦田 敏隆）

令和7年度通常総会を開催

当連盟の令和7年度通常総会を6月13日(金)に京都市下京区のホテルで開催し、役員・会員等約120名に出席いただきました。

総会においては、令和6年度の事業実績や令和7年度の事業計画等について報告が行われ、新役員の選任や令和6年度の収支決算等について承認されました。

京都観光の活性化と観光関連産業の振興を図るため会員の拡大と市町村・DMO・観光協会・関係事業者等との連携を深め、運営基盤の強化を行ってまいります。



【新役員の御紹介】

役職	氏名	摘要
会 長	田 中 誠 二	
副 会 長	中小路 健 吾	新任
	吉 本 秀 樹	
	角 田 潤 哉	
	大 西 祐 資	
	浅 井 栄 一	新任
	土 井 伸 宏	
	鈴 木 一 弥	
専務理事	四 辻 清 美	
理 事	村 瀬 茂 高	
	井 上 敬 章	
	横 井 雅 史	
	中 村 藤 吉	
	芦 田 敦 嗣	
	植 本 浩 明	
	井 上 悦 幸	新任

理 事	奥 村 昌 信	
	坂 本 利 正	
	財 剛 啓	
	高 岸 実 良	新任
	佃 侑 彦 郎	
	近 野 薫	
	三 浦 達 也	新任
	常 田 学	新任
	池 田 静 雄	
	磯 橋 輝 彦	
	園 部 平 八	
	濱 崎 加奈子	新任
監 事	野 口 礼 子	
	田 中 恆 清	
	柄 岡 義 之	
	植 田 貢太郎	新任
	中 野 雄 介	新任

京都観光アカデミー特別公演会を開催

京都観光アカデミー特別講演会を令和7年度通常総会後に開催しました。特別講演会では、観光庁審議官の鈴木貴典様に「昨今の観光情勢を踏まえた今後の観光政策」をテーマに観光政策の潮流や今後の方向性等について御講演いただきました。

<日時>

令和7年6月13日(金)11:50~12:35



「会員の集い」を開催

令和7年度通常総会及び京都観光アカデミー特別講演会終了後、京都府観光連盟会員様同士の懇親を目的とした「会員の集い」を今回初めて開催しました。

同時に、会員様の事業紹介PRコーナーも設置し、会員様間のマッチング機会を創出しました。

<日時>

令和7年6月13日(金)12:45~14:00

<PR事業者>

41社



令和7年度 京都府観光経営セミナーを開催します

観光事業を取り巻く環境変化に対応しDXの考え方・技術を活用し事業展開を実行する「観光DX人材」の育成を図るため、観光関連事業者の方を対象に、「京都府観光経営セミナー」を開催します。受講者の申し込みを受け付けていますので、ぜひ御参加ください。

<開催日程>

レクチャー編：令和7年8月7日(木)、8日(金)、25日(月)、26日(火) 計4日間・15コマ

体験編：令和8年2月12日(木)、13日(金)、19日(木)、20日(金) 計4日間・11コマ

<場所>

京都大学経営管理大学院内

※対面・オンラインの選択制(ハイブリット形式)

<内容>

レクチャー編：ホテル・リゾート企業のマネジメント、マーケティング、管理会計、観光業におけるDX実践例、観光人材マネジメント等

体験編：システム開発演習、プロジェクトマネジメント、リアル課題演習

<受講料>

おひとり30,000円

詳しくはこちらの二次元コードから

<お問い合わせ先>

(一社)京都ビジネスリサーチセンター

京都府観光経営セミナー事務局

電話：075-753-3543

E-mail：kbrc-office.k20@kbrc.jp



鴨川納涼2025を開催します

京都の夏の風物詩として親しまれる「鴨川納涼」を今年も開催いたします。河川美化・伝統産業等の普及啓発、京都の観光PR、府内市町村や全国の特産品の展示販売や、友禅流しファンタジーなどを行います。夏の夕暮れを涼やかに楽しめるイベントですので、ぜひお越しください。

<開催日程>

令和7年8月2日(土)17時～21時
3日(日)17時～20時

<開催場所>

鴨川三条大橋～四条大橋
右岸河川敷



詳しくはこちらの
二次元コードから

食の京都「食らし旅」情報発信

昨年度、食の京都「食らし旅」において、「食らし旅」WEBサイトへの記事掲載14件、Instagram:45件、X(旧Twitter)45件、Facebook26件の情報発信を行いました。

今年度も京都府内の食文化の魅力や食に関わる情報を食の京都「食らし旅」で発信していきます。

食の京都「食らし旅」ウェブサイトへは
こちらの二次元コードから



京のひとこと

京都府観光連盟では、会員の皆様へ事業内容や取り組みを発信するため、会報誌「京都府観光連盟News」を発刊しているところですが、より充実した内容をお届けするため、「京のひとこと」として、当連盟の役員によるコラム記事を掲載しております。今回は、当連盟の理事である京都府北部地域連携都市圏振興社(海の京都DMO)村瀬茂高社長に執筆いただきました。

京都府北部地域連携都市圏振興社(海の京都DMO) 村瀬 茂高 社長

「地域一体となって進む、地域が誇れる持続可能な未来へ」

京都丹後鉄道の開業からこの地域に関わり海の京都をこよなく愛するひとりとして、私はいつも思うのです。

「観光とは、地域の人々の暮らしの延長線にあるべきだ」と。

観光とは“特別な何か”を持ち込むことではなく、ここに住む人々が普段大切にしている文化、自然、食、習慣が、そのまま「価値」となり、訪れる人々の心に届くこと—そこに本当の魅力があります。

京都市内からわずか数時間のこのエリアは、世界から選ばれる“もうひとつの京都”として、多くの外国人観光客を迎え入れております。

著名な伊根の舟屋、天橋立を始め、海の京都全域には、それぞれの地域ごとに観光地では出会えない、暮らしが息づく日本の原風景がある。そう話す海外のお客様も少なくありません。

だからこそ、私たちは観光を“商品”ではなく、“交流の場”ととらえています。文化の違いを越え、人と人が出会い、笑顔で言葉を交わし、お互いの価値を認め合える。海の京都は、そんな心温まる観光地を目指しています。

観光のチカラは、一つの団体や企業だけでは実現できません。

自治体、観光事業者、農林漁業者、住民、学校、そして地域外から関わってくださる皆さん、私たちはすべての人との「連携」にこだわります。「地域の魅力は、地域で守り、磨く」。

その輪が少しずつ広がってきていることに、大きな希望を感じています。

最後に、海の京都が、住む人にとっても、訪れる人にとっても“誇り”となるよう、私たちはこれからも皆さんとともに、歩みを進めてまいります。

地域とともに、世界とつながる。それが、海の京都DMOの願いです。

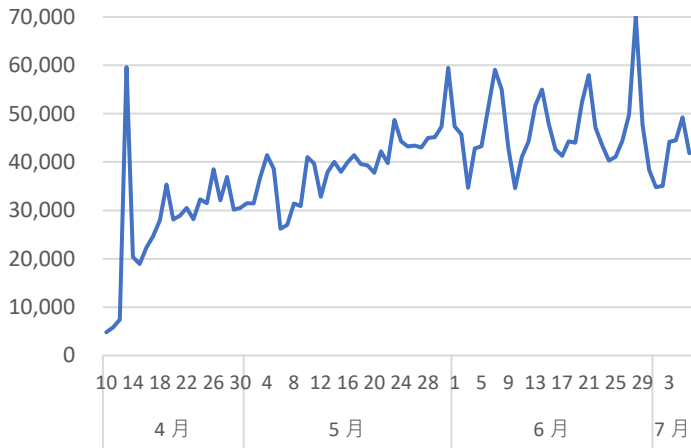
観光連盟 データ分析 Report

大阪・関西万博 国内来訪客の分析

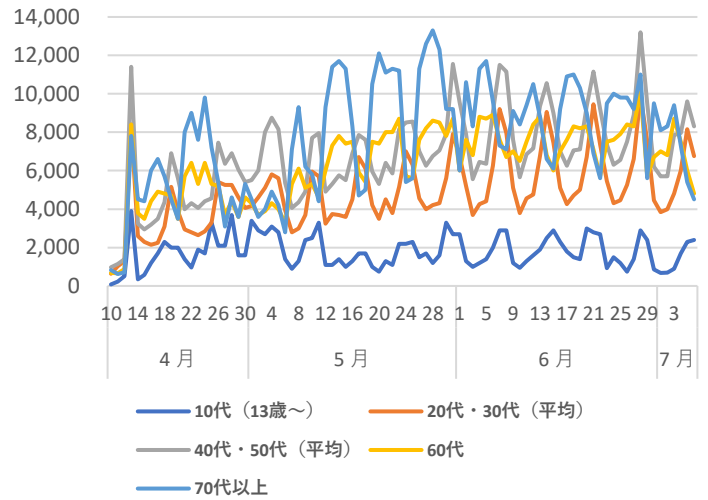
開幕から7月6日までの国内来訪客の傾向をビッグデータから推測する

※公益社団法人2025年日本国際博覧会協会によるデータではありません

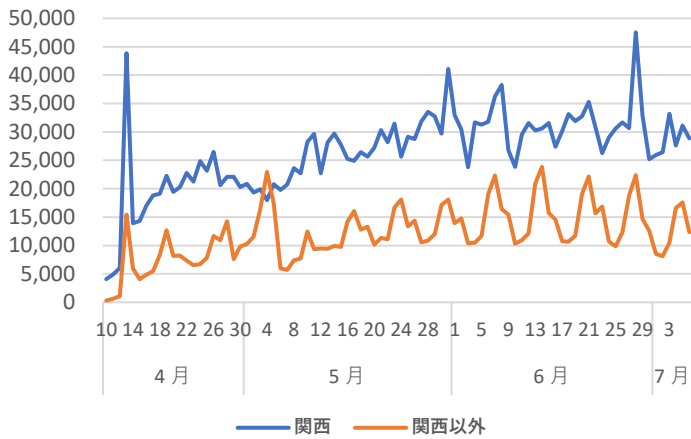
国内客来訪者全体



全国 年代別



関西・関西以外



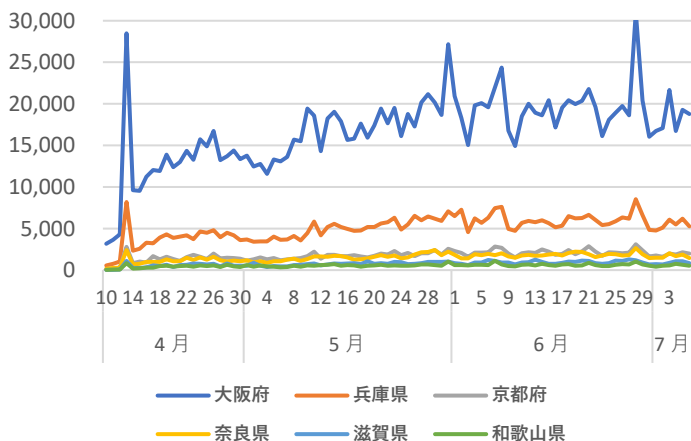
来訪者は40代以上が7割を占める。60代と70代以上は平日に多く来訪しているが、6月以降は総数が減少傾向。10代の来訪は少なく全体の4%を占めるのみ。

※ 20代と30代、40代と50代はほぼ同様の増減を示しているため、それぞれの平均値をグラフ化しています。

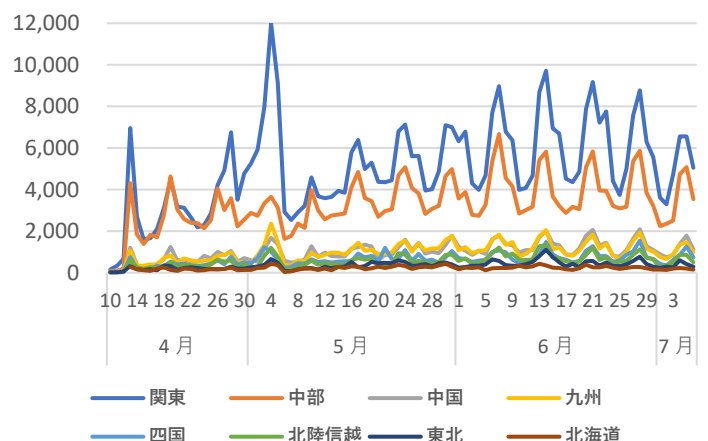
来訪者の7割が関西圏から。ただしゴールデンウィーク中には関西圏が減少し関西以外が逆転した日もある。

概ね毎週土曜日に山が、月～水曜日に谷がある。6月以降はその繁閑差が大きくなっており、関西以外は総数が減少傾向。

関西 府県別



関西以外 地域別



大阪府からの来訪が関西の中で6割以上を占め、来訪者全体に対しても4割を占める。なお、5月31日は通期パスの割引コード配布最終日で読売テレビ主催の音楽番組も開催、6月29日は「大曲の花火」を開催。

関西以外の中では関東からが41%（全体の中では13%）、中部からが27%（同8.5%）。どちらも6月以降は総数が減少傾向。

5月4日には関東から最大の来訪があった。

来訪者：大阪市此花区以外に住所があると推定される人の滞人口（日本人のみ）
来訪者数データの出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT（2025年7月8日時点の推計）

<編集・発行者>

公益社団法人京都府観光連盟
令和7年7月18日発行

<事務局>

〒602-8570
京都市上京区下立売通新町西入数ノ内町 府庁2号館3階
TEL:075-411-9990
URL:<https://www.kyoto-kankou.or.jp>